

重点施策 12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展、歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育むとともに、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及、啓発を実施する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

■文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ 八幡浜市美術館特別展の開催

■文化会館事業

- ① 文化会館管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成（申請なし）
- ④ カルチャー教室・ロビー展の開催

■市民文化活動センター事業

- ① 市民文化活動センター管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成

(2) 施策・事業の実施状況

■文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市内外より作品を募集し、絵画（洋画、日本画）、書道、写真、工芸等の各分野から147点の応募があった。特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会長賞、推奨、高校生奨励賞等の表彰を行い、作品制作の励みとなるようにした。

観覧料は無料。観覧者 1,295 人（八幡浜市美術展委託料）400 千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）、書道、写真等の作品 100 点を展示した。

観覧料は無料。観覧者 884 人（県展八幡浜移動展委託料）250 千円

③-1 八幡浜市美術館開館5周年記念特別展 色彩の秘密 巨匠たちのパレットと絵画
ーピカソ、ダリから近現代日本の巨匠までーの開催

八幡浜市美術館の開館5周年記念特別展として笠間日動美術館が所蔵する近現代洋画界を代表する作家たちのパレットと油彩画を組み合わせた展覧会を開催した。会期中には講演会やミュージアムコンサート、出品作家関連の映画上映会を開催し、市民に広く芸術に親しんでいただける場を設けた。

会期：令和6年6月29日（土）～8月25日（日）50日間

観覧者2,125人（有料1,675人、無料450人〔※うち高校生以下162名〕）

（美術展委託料ほか）6,719千円

③-2 第3回八幡浜市美術館共催展「身近な風景から美を求めて 浅野美杉展」の開催

八幡浜市美術館では郷土を代表する作家を紹介する場として、八幡浜市美術館共催展を開催、第3回として「身近な風景から美を求めて 浅野美杉展」を開催した。浅野氏は、愛媛県美術展や歴史ある全国規模の公募展である創元会展、近代日本美術協会展などに出品し、現在も現役で活躍されている画家。氏の92点の作品を展示紹介し、郷土の画家の顕彰につなげた。

会期：令和6年10月19日（土）～11月4日（月）15日間 観覧者：755人

■文化会館事業

① 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育むとともに、生涯学習の拠点として貸館業務、カルチャー教室、ロビー展などを実施した。

② 自主文化事業の開催

wacci Special Live in やわたはま、鼓童ワン・アース・ツアー2024、Yawatahama みかん Jazz2025 の3事業を実施した。

地元小学生との交流、高校吹奏楽部への演奏指導、出演など体験型の自主文化事業を計画し実施することができた。

また、若者向けのLiveではチケットも完売し、大盛況のうちに幕を閉じた。

③ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の募集をしたが、申請がなかった。

④ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座との調整を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、俳句・絵画・料理の3講座を計画した。料理教室は、受講希望者が少数であったため中止とした。俳句教室と絵画教室はそれぞれ計画どおり年間10回開講した。

また、ロビーを作品発表の場として開放し、「ミニ美術館」として活用した。市民の方々の優れた作品を展示し鑑賞していただいた。

⑤ 大規模改修工事

当会館は平成10年の竣工から25年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでおり、大規模改修工事を実施する必要があるため、今年度は文化事業を進めながら改修工事の実施設計を行った。

■市民文化活動センター事業

① 市民文化活動センター管理・運営

施設利用者が増加するなか、練習の場・発表の場として活動しやすい環境を整え、市民の自主的な文化・芸術活動並びにボランティア活動等の支援につなげた。

② 自主文化事業の開催

定期的で開催している映画上映会では、市民のリクエスト作品を参考にしながら上映を行い、さらに国立映画アーカイブの優秀映画鑑賞推進事業に参加することで、新旧、邦画・洋画、様々なジャンルの作品を上映することができた。南予地域に映画館がない現在、近隣自治体からも来場があり、市内外に映像文化に親しむ機会を提供するとともに、交流人口の獲得にも寄与している。

また、市民にとって身近な存在である当市にゆかりのあるアーティスト等を迎えた「オペラ公演『フィガロの結婚』」、「第4回てやてや寄席 柳家花緑・柳家勸之助親子会」、「コミカン開館5周年記念 よしもとお笑いLIVE!」を開催し、優れた芸術文化の「鑑賞」する機会を提供することができた。

③ 企画プロデュース事業への助成

文化会館で実施している上記事業の対象施設に市民文化活動センターを加え、市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の募集を行い、南予一期座だんだん第5回公演実行委員会より申請があり、「南予一期座だんだん第5回公演・八幡浜市合併20周年記念公演」に助成を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

○ 文化・芸術事業の振興については、八幡浜市美術館が、「市民のアートへの入口」として定着し、芸術・文化活動の面で大きな役割を果たしている。八幡浜市美術展では、市民より作品を募集し、絵画、書道、写真、工芸等の分野から147点もの参加があった。どの作品も制作者の思いが伝わってくるレベルの高い作品ばかりであった。この美術展では、「高校生奨励賞」を設けており、若い才能を伸ばす上で、大変意義がある。観覧者が1,295人もあり、市美術展が、市民に親しまれていることが分かる。

県展移動展においても、八幡浜市出身者の作品を中心に100点が展示されており、市民が芸術に触れることのできる環境があることは、大切なことだと思う。

○ 八幡浜市美術館開館5周年記念特別展「色彩の秘密 巨匠たちのパレットと絵画ーピカソ、ダリから近現代日本の巨匠までー」の開催については、八幡浜市美術館の開館5周年記念特別展として笠間日動美術館が所蔵する、近現代洋画界を代表する作家たちのパレットと油彩画を組み合わせた展覧会が開催された。会期中に観覧者が2,125人もあり、その中で高校生以下無料という配慮が、芸術に触れる機会を広げていったと思われる。また、会期中に講演会やミュージアムコンサート、映画上映会を開催し、市民が芸術に親しむ場の設定に努力された結果が、観覧者の増加につながった。

第3回八幡浜市美術館共催展「身近な風景から美を求めて 浅野美杉展」の開催については、郷土を代表する作家を紹介する場として毎年実施している。浅野氏は、愛媛県美術展や歴史ある全国規模の公募展である創元会展、近代日本美術協会展などに出品し、現在も現役で活躍されている画家であるが、教員として子供たちの指導もされてきた。美しい谷川の風景やミカン畑の情景が美しい展覧会であった。観覧者も多く755人であった。

○ 文化会館事業においては、「wacci Special Live in やわたはま」、「鼓童ワン・アース・ツアー2024」、「Yawatahama みかん Jazz2025」の3事業を実施した。地元小学生との交流、高校吹奏楽部への演奏指導、出演などができたことは、子供たちにとっても未来につながる喜びである。若者向けのLiveではチケットも完売し、市の活性化につながった。

また、「Yawatahama みかん jazz2025」も好評で、県内外から多くの参加者があった。新鮮な企画が、地域の人々の心を豊かにしてくれている。今後も、心に残る企画をお願いしたい。

企画プロデュース事業への助成については、申請がなく、来年度は、申請があることを願っている。

カルチャー教室・ロビー展については、年間を通して活動できたことは、素晴らしいと思う。カルチャー教室では、俳句・絵画教室を年10回開催し、「夢づくり・夢学び」に近づけたものと思われる。作品を「ミニ美術館」として公開し、好評を得ているが、市民に対しての広報活動に、さらに力を入れると一層盛り上がると思われる。

大規模改修工事を終えて、さらに充実した文化会館の活動に期待したい。

○ 市民文化活動センター事業については、利用しやすい環境を整え、市民の文化・芸術活動にやる気と生きがいをもたらし、市民全体に活気と明るい展望を与える場となっている。

大型ディスプレイやオンライン配信・会議用機能を充実させ、より利用しやすい環境を整えたことは、活動を推進する大きな力になると思う。

映画上映会では、南予地区に映画館がないため、近隣自治体からも来場があり、リピーターが増えている。さらに国立映画アーカイブの優秀映画鑑賞推進事業に参加することで、新旧、邦画・洋画、様々なジャンルの作品を上映することができ、参加者の喜びとなっている。

また、本市にゆかりのあるアーティストを迎えた公演も好評で、「オペラ公演『フィガロの結婚』」、「第4回てやてや寄席 柳家花緑・柳家勸之助親子会」、「コミカン開館5周年記念よしもとお笑いLIVE!」を開催してもらっている。地方においても、優れた芸術文化を鑑賞する機会があることは素晴らしく、今後も継続してほしい。

- 市民が企画・立案し自主運営する事業については、南予一期座だんだん第5回公演実行委員会より申請があり、「南予一期座だんだん第5回公演・八幡浜市合併20周年記念公演」に助成を行った。地元で活動している「南予一期座だんだん」の活動を継続し、一層充実したものにするために必要な支援である。

【自己評価】

- 八幡浜市美術展の開催は47回、県展八幡浜移動展は昭和39年以降、52回を数え、市内外の美術愛好者の作品を一堂に会する美術展として定着している。今後も幅広い年代の方が芸術文化に親しみ、成果を発表する機会を設けていきたい。
- 八幡浜市美術館は、美術館として高い機能を備えながらも、市民のみなさまが気軽に利用しやすいつくりになっている。「色彩の秘密 巨匠たちのパレットと絵画ーピカソ、ダリから近現代日本の巨匠までー」では、近現代洋画界を代表する作家たちのパレットと油彩画を組み合わせた展覧会で、梅原龍三郎や安井曾太郎を始めとする日本近代洋画の巨匠たちや現在活躍中の作家に加え、ピカソ、ダリなどの外国作家、また愛媛県出身の野間仁根や智内兄助、八幡浜ゆかりの工藤和男のパレットもあり、借用したパレットとともに八幡浜市が所蔵する工藤画伯の作品と共に展示紹介するなど、郷土作家の顕彰にも繋がった展覧会であった。第3回八幡浜市美術館共催展「身近な風景から美を求めて 浅野美杉展」では八幡浜市だけでなく愛媛県で洋画の普及に尽力している浅野美杉氏を紹介し、市内外から多くの方に来場いただいた。今後も郷土の作家を顕彰する企画展を開催したい。
- 文化会館事業は、「wacci Special Live in やわたはま」、「鼓童ワン・アース・ツアー2024」、「Yawatahama みかん Jazz2025」の3事業を滞りなく開催することができた。
若者向けの公演はチケットが完売し、その他公演についても地元高校生や神楽保存会との交流を企画することができ大変好評であった。今後も市民の方に喜んでいただける事業を企画したい。
- カルチャー教室は、3講座のうち受講希望者少数で1講座が中止となったが、その他2講座については休講もなく1年間開催することができた。令和7年度からは会館の大規模改修工事がスタートするため、公民館講座への移行など生徒が休みなく引き続き参加できる方法を検討したい。
- 市民文化活動センターは、その目的から市民の文化・芸術の発表の場として多くの利用をいただいている。また、自主文化事業である映画上映会並びに、本市ゆかりのアーティスト等による公演についても大変喜ばれている。映画上映会では、様々なジャンルの作品を上映することで、子供からご年配の方まで幅広く鑑賞いただいております。てやてや寄席やオペラ公演も継続事業として定着してきたことから多くの方より感謝の言葉をいただいている。今後も活動を続けることで、文化・芸術の継承に繋がるよう取り組んでいきたい。
- 企画プロデュース事業は、市民による主体的な文化活動を支援するものである。

令和6年度は、「南予一期座だんだん」への支援を行った。

今後も、引き続き市民の文化活動がより活発に展開できるよう、支援環境の整備に努める。